

避難するときの心得

●大雨洪水注意報が出されたら、テレビやラジオなどの情報に注意するとともに、必要な持出品をもう一度確認するなど、すぐに避難できる準備をしましょう。

また、停電や断水する前に、あらかじめ水をためたり、食糧を準備しておきましょう。

●何よりも人命が第一です。

“あぶない”と感じたら、浸水が始まらないうちに、自分からすすんで避難しましょう。

市の避難所に自主的に避難するときは、事前に避難所が開いているかどうかを市役所に確認してから避難しましょう。

●雨の中を子供やお年寄りなどを連れて歩いて避難するときは、通常の2倍の時間がかかると言われていので、避難所へは早めに避難しましょう。

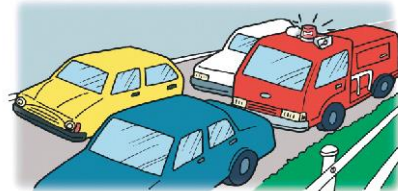
●障害のある方やお年寄り、子供、妊婦さんなど避難に時間や手助けが必要な方を優先的に避難させるように、みんなで協力して避難の援助をしましょう。



●避難するときは、隣近所に声をかけ合い、みんなで避難しましょう。

●自動車での避難はやめましょう。

交通渋滞や事故をまねき、救急車両などの通行のさまたげにもなります。



●避難するときは、溝や水路のある道路を避け、なるべく高い道路を選びましょう。

やむをえず、浸水した道路を利用するときは、長い棒などで足元を確認しながら避難しましょう。

●アンダーパスの通行は危険です。

鉄道や道路が地下で交差する構造のアンダーパスは、水が溜まりやすく深さが分かりにくいので、車両が水没する危険性があります。

●浸水して水の深さが腰まできたら無理は禁物です。

ひとまず、近くの高台やじょうぶな高い建物などに避難しましょう。

